

リンゴ「会津のほっぺ」の紹介

福島県農業振興課
平成28年11月

1 「会津のほっぺ」の位置づけ

「会津のほっぺ」は、着色が良好で、独特の芳香が特徴の中生品種である。冷涼地で品種特性が最大に発揮されるので、会津および南会津地域を中心に本県オリジナル品種の新たな銘柄として普及を図る。

2 育成経過

昭和61年	交配 母 ふじ 父 紅玉
昭和62年	播種・実生個体を育成し定植
平成6年	初結実、1次選抜開始
平成14年	「リンゴ福島5号」の系統番号を付与
平成15年 ～24年	播種、実生個体を育成し定植現地試作
平成24年	育成完了

3 品種の特性

- (1) 収穫期は10月上旬から中旬で、「陽光」に比較して若干早いかほぼ同等。
- (2) 着色（濃紅色）良好で、甘味が強く（糖度15%程度、リンゴ酸0.3%前後）、独特の芳香を有する。
- (3) 主力品種である「ふじ」と交配親和性が高く、受粉樹としても利用可能。

※旧品種名称は「会津あかね」で、平成28年に「会津のほっぺ」に名称変更した。



「会津のほっぺ」の果実